

寅さん歩 その19

バーチャルウォークで

中山道（東下り）を歩くー4



平野 武宏

バーチャルウォーク東海道五十三次で京都・三条大橋に到着した寅次郎、帰路はバーチャルウォーク中山道六十九次（東下り）で江戸・日本橋へ戻ります。

今回は各宿場を紹介しながら、京都から初めて歩く中山道（東下り）を楽しみます。各宿場の紹介は山と溪谷社の「歩いて旅する中山道」を参考にしました。写真は無料画像を使用しています。

前回は醒井宿から垂井宿まで歩きました。今回は赤坂宿から鵜沼宿まで歩きます。

[赤坂宿] 岐阜県大垣市赤坂 最寄駅 JR東海道本線 美濃赤坂駅

2024年2月28日赤坂宿（京都・三条大橋から102km）に到着しました。町全体に街道風情（写真下左）が漂います。写真下右は本陣跡です。交通の要衝で旧杭瀬川の川湊・赤坂湊や、西国三十三か所満願寺・谷汲山華嚴寺への巡礼客で賑わいました。赤坂湊からは背後の金生山から採石した石灰岩や大理石が搬出されました。



[美江寺宿] 岐阜県瑞穂市美江寺 最寄駅 樽見鉄道 美江寺駅

揖斐川を渡り、2024年3月2日美江寺(みえじ)宿(京都・三条大橋から110km)に到着しました。今も昔もこじんまりした宿場(写真下左)です。養老年間に伊賀より十一面観音を移したことで、河川の氾濫がおさまったため、観音像を安置した勅願所を美江寺と名付けたと伝わります。この寺は戦火で焼け斎藤道三により岐阜の町に移されました。その後は宿場名と美江神社(写真下右)にある美江寺観音堂がその存在を伝えるのみです。



[河渡宿] 岐阜県岐阜市河渡 最寄駅 JR東海道本線 瑞穂駅

2024年3月4日河渡(ごうど)宿(京都・三条大橋から115km)に到着しました。長良川の渡しによって栄えた宿場(写真下左右)です。規模の小さな宿場でしたが、増水による川止めで多くの旅人が滞留して賑わったといひます。宿場は第二次大戦による焼失と長良川の河川改修により宿場当時の名残は現在何もありません。



[加納宿] 岐阜県岐阜市加納 最寄駅 JR東海道本線 岐阜駅

長良川を渡り、2024年3月7日加納（かのう）宿（京都・三条大橋から121km）に到着しました。現在の岐阜市街に属し、宿場町と加納城の城下町を兼ねていたことから美濃16宿の中で最大の宿場でした。写真下左は加納宿の町並みです。他には当時をしのばせる建物はほとんどありませんが、随所に道標や碑（写真下右）があり街歩きができます。



[鵜沼宿] 岐阜県各務原市鵜沼西 最寄駅 名鉄 鵜沼宿駅

2024年3月13日鵜沼宿（京都・三条大橋から138km）に到着しました。鵜沼宿は1891年（明治24年）の濃尾大地震により、江戸時代の建物は消失してしまいました。その後徐々に整備され昔の宿場町の景観（写真下左）が再現されています。写真下右は脇本陣の前にある菊川酒造です。



今回はここまでとします。

平野 寅次郎 拝